

鹿屋体育大学倫理審査小委員会 オプトアウト書式

今回の研究の実施にあたっては、鹿屋体育大学倫理審査小委員会の審査を経て、許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和 11 年 4 月 8 日までです。

①研究課題名	大学野球選手のスプリント能力に関する横断的・縦断的研究
②対象者及び対象期間	鹿屋体育大学スポーツパフォーマンス研究センターにて、2021 年 12 月から 2024 年 3 月までに 30m のスプリント測定を実施した鹿屋体育大学野球部に所属する男性、84 名を対象にします。
③概要	野球選手のスプリント能力の向上は、各塁への到達時間の短縮につながり、得点機会の創出に関わる運動能力の一つである。しかし、スプリントに関する多くの先行研究は、陸上競技短距離選手を対象としている。そのため、野球選手を含む球技種目選手のスプリント能力【特に、球技種目特有の短い距離のスプリント能力】に関する知見は限られている。また、スプリント能力の縦断変化に関する先行研究はほとんどない。そこで、本研究の目的は、大学野球選手について、スプリント中の地面反力データから、スプリント能力に関わる要因を横断的・縦断的に検討することである。 これまで、2021 年 12 月から 2024 年 3 月まで大学野球部に所属する男性選手 84 名を対象とし、1 年に 3 回（3 月、7 月、12 月）の 30m のスプリントデータ測定（地面反力データ）を実施してきた。延べ 300 のスプリント中の地面反力データを使用することから、スプリント能力が優れた選手の特徴およびスプリント能力が向上した選手の特徴を明らかにしていく。
④研究の目的・意義	本研究の目的は、大学野球選手のスプリント能力の向上に必要な力学的特徴を解明することであり、本研究の知見からスプリント能力を向上させるトレーニング方法の開発につながる可能性がある。
⑤研究期間	令和 6 年 4 月から令和 11 年 4 月まで
⑥情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	以前の研究の際に取得した情報を使用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。他の機関へは情報提供を行いません。
⑦利用または提供する情報の項目	性別、年齢、身長、体重、スプリント中の地面反力データから分析した時空間変数（ピッチ、ストライド、接地時間、滞空時間など）と地面反力変数（力積、最大値、平均値など）
⑧利用の範囲	スポーツ生命科学系・講師・宮崎 輝光 スポーツ武道実践科学系・講師・藤井 雅文 鹿屋体育大学・特任助教・鈴木 智晴 鹿屋体育大学・特任助教・久保田 大智
⑨研究試料・情報の管理について責任を有する者（お問い合わせ先）	スポーツ生命科学系・講師・宮崎輝光 TEL: 0994-46-4948 E-mail: t-miyazaki@nifs-k.ac.jp
⑩事務局	鹿屋体育大学 研究・社会連携課 研究支援係 Tel : 0994-46-4820 E-mail : kokusai@nifs-k.ac.jp

以下は、過去に承認されたことがある場合

⑪承認番号	
⑫過去の研究課題名と 研究責任者	